

要望事項 (優先順位 3)

防災対策機材等施設の整備と充実について

要 旨

鞍馬学区では毎年、自主防災会の避難訓練が行われます。この二ノ瀬区では毎年、午前8時に警報サイレンを鳴らすことを合図に訓練を実施していますが、このサイレン音が住民の3分の1程度にしか届いておりません。

住民にいち早く災害発生を告知するには、警報サイレンの設備の充実か、増設が必要です。過疎の村、山間部の何が起きても不思議ではない所に、最優先して配備していただくことを要望します。

回 答**(行財政局)**

御要望のサイレンにつきましては、①本市の防災施策においてこれまでサイレンを活用していないため、市民の間に浸透していないこと、②伝達できる情報量が極めて少ないこと、③平野部では可聴範囲が広いが山間部では音の通りが悪く、本市の地形特性に合っていないこと、④荒天時には音の通りが悪く土砂災害対策向けではないこと、といった課題がある一方で、①出力を上げやすい、②個別の受信端末を準備しなくていい、といった利点もあることを踏まえつつ、他の方法による対応等も含め、なお慎重な検討が必要なものと認識しています。